

## 平成27年度 歴史散策開催報告

# 鎮國さんの宝物館を訪ねて

主催 三重県  
後援 桑名市 桑名市教育委員会  
協力 桑名歴史案内人の会

平成27年12月5日(土)  
8時30分から12時30分に開催しました

晴れた穏やかな散策日和となりました。54名の参加者は桑名駅東口ロータリーに8時に集合し、4班に分かれてまずは海蔵寺を見学、鎮國神社宝物館（宮司の解説）、九華公園散策、七里の渡し跡、北桑名神社などを桑名歴史案内人の会の解説で散策しました。

宝物館は、1・2班、3・4班と2グループに分け入れ替え制で見学。各グループ約1時間、宝物館の社宝を宮司の解説で見学しました。

桑名駅東口ロータリー集合  
1班から順に散策スタート



八間通りを歩き、  
海蔵寺へ向かう

海蔵寺



宝暦治水工事の際に亡くなった「薩摩義士24基の墓」があり、中央の五輪塔が工事の総奉行をつとめた薩摩藩家老平田鞞負(宝暦5年=1755没)の墓。本堂等の建物は戦災で全焼し、現本堂は昭和31年(1956)再建しました。寺宝として平田鞞負木像(昭和3年、内藤伸作)、義士を葬った際の「葬い証文」、薩摩焼焼耐徳利などがあります。平田鞞負の命日である5月25日には毎年祭典供養が行われます。



## 楽翁公百年祭記念宝物館



先に1・2班が宝物館を宮司の解説で見学しました。

宝物館では、二千点を超える多くの収藏品の中から、主なものを中心に鎮國神社宮司から1時間ほど解説いただき、メモをとる参加者、大きくうなづく参加者の姿が見うけられました。「貴重な収藏品を宮司の解説で見ることができ、有意義な時間を過ごせた」などの感想もいただきました。昭和9年(1934)に完成。主な社宝に、「集古十種版木」、「松平定信像」、「類聚名義抄」、「松平家御具足」、「脇差 来国光」、「刀 銘鳴神」や、舞楽面、楽器、定信考案模型類、各種の古地図・古文書など多数あります。宝物館は5月2～3日の大祭日に一般公開されますが、今回は特別に公開していただきました。



1・2班宝物館見学を終了し、九華公園散策へ。入れ替わりで3・4班が宝物館を見学しました。



## 九華公園散策



鎮國守國神社



天守閣跡



精忠苦節碑



神戸櫓跡



辰巳櫓跡



二の丸石垣や風景  
を楽しみながら散策



桑名城城壁が残る、歴史を語る公園を歩きました。



春日神社鳥居前



本多忠勝像



蟠龍櫓



### 七里の渡し跡



伊勢神宮の式年遷宮の際に解体される旧殿に使用された御用材は、神宮内やその摂社・末社をはじめ、全国の神社の造営等に再利用され、外宮正殿の棟持柱については宇治橋おほらい町側鳥居となり、さらに桑名の七里の渡しの鳥居となります。御用材は、御正殿の棟持柱として20年、更に宇治橋の鳥居として20年、そして、伊勢の入り口である桑名の七里の渡しの鳥居として更に20年、60年もの永きにわたり再利用されています。平成27年5月31日「お木曳」を、平成27年6月7日「竣工式」を行った新しい鳥居を見学しました。



### 三崎見附跡



### 北桑名総社・北桑名神社



美濃街道を歩き、解散場所のサンファーレへ向かいます

サンファーレにてアンケートに協力いただき  
解散しました。



参加者、宮司そして案内人のご協力で歴史散策を無事終了しました。  
ありがとうございました。